

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		マンション共用部分バリアフリー化支援					所管	都市づくり部 住宅課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	92	計画事業名	マンション共用部分バリアフリー化支援			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進						
		[小 柱] (3)住生活の安定の確保及び質の向上						
	[施策] ②良質な住宅・良好な住環境の整備促進		[事業開始] 平成27年度					
	[終了予定]		- 年度					
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区マンション共用部分バリアフリー化支援助成制度実施要綱				
	事業対象	区内の分譲マンションの管理組合、賃貸マンションを所有する個人						
	事業目的	共用部分のバリアフリー化工事に要する費用の一部を補助することで、高齢者や障害者をはじめとするマンションに居住する区民が暮らしやすい良質な住環境の整備を促進する。						
事業内容	区内のマンション(非木造・耐火建築物)の共用部分または敷地内におけるバリアフリー化工事【①段差の解消(スロープの設置)、②手すりの取り付け(廊下・階段・エレベーター内等)】に要した費用の1/3以内(千円未満切り捨て)かつ限度額50万以内							
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	助成件数	件	10	-	-	3	
		成果指標						
	決算額 (単位:千円)					-	-	698
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				-	-	2,406
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				-	-	0
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				-	-	698
		総経費				-	-	3,104
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				-	-	0
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				-	-	0
一般財源(区負担額)				-	-	3,104		
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	バリアフリー化されていないマンションは築年数が経過し、居住者も高齢化していることが多い。こうしたマンションが行うバリアフリー化工事に対して助成を行うことで、良質な住環境の整備に貢献している。					
	効率性	3	申請前に相談を受け、工事内容が「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」に準じる内容となることを確認。区職員が承認前の現地確認と工事終了後の完了検査を行い、適切に工事したか判断したうえで助成しており、効率的に実施している。					
	手段の適切性	3	工事内容が「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」に準じる内容となることを確認している。また工事費を助成することで、マンションに住む高齢者や障害者にとって安全で良好な住環境の整備につながり、手段として適切である。					
	目的達成度	1	平成27年8月から新規で実施し、平成27年度は申請4件、助成3件となった。広報やセミナーでの周知に今後とも努めていく必要がある。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
バリアフリー化工事にかかる費用を助成することで、マンションに住む高齢者や障害者にとって安全で良好な住環境の整備に繋がる取り組みである。引き続き広報やマンションセミナーでの周知を徹底するとともに、今後は、住宅関連団体への周知も行うなど、助成件数の増加に努めていく。					改善			